

別添5

第21回民有林林道木材使用工事コンクール推せん書

令和2年 8月31日

協会名 (一社) 岩手県治山林道協会

項 目	記 事		
(ふりがな) 路線(工区)名	(ひらのはらせん(だい2こうく)) 平野原線(第2工区)		
工 事 名	令和元年度森林管理道平野原線(第2工区)開設工事		
施 行 箇 所	遠野市上郷町平野原地内ほか		
工 事 内 容	延長624.5(415)m 全幅員4.0m 木材使用量 60.5m ³ ----- 木材使用工法の内容: 木柵工、丸太伏工、木製吐口保護工、木製路面排水工		
工 事 金 額	7, 6 1 5 万円		
発 注 年 月 日	令和元年 8月 2日		
完 成 年 月 日	令和2年 3月23日		
審査結果(採点)	17 点	コンクール対象件数	22 件
表彰対象者	(ふりがな) 対 象 者	(きくち さとる) 菊池 悟	
	担 当 部 局	遠野農林振興センター林務課	
	住 所	遠野市六日町1-22	
推 せん 理 由	<p>当該工事は、H18から継続して施工している森林管理道平野原線の開設工事である。土質は転石を多く含むマサ土系の地質であり、冬期間の地山の凍結などにより、非常に施工が困難な工事であった。その中でも丸太伏工などの木材を使用した工種を多数施工し、その出来栄えも良好であった。</p> <p>丸太伏工は、設計は皮剥丸太であったが承認で丸棒加工材を使用し、見栄えよく施工した。</p>		
表 彰 暦	平成22年度治山治水協会会長賞		

林道木材使用工事コンクール審査表

都道府県名 岩手県

工事名 森林管理道平野原線（第2工区）開設工事

1. 国産木材の使用状況

使用工種	個所数	左のうち木材 使用個所数	使用総量(m ³)	使用の概要説明
木柵工	1	1	9.7	法足保護
丸太伏工(横木有り)	1	1	43.7	視距確保 施工管理を容易
丸太伏工(横木無し)	1	1	5.0	視距確保 施工管理を容易
木製吐口保護工	1	1	1.7	洗堀防止対策
木製路面排水工	1	1	0.4	路面の水切
計			60.5	

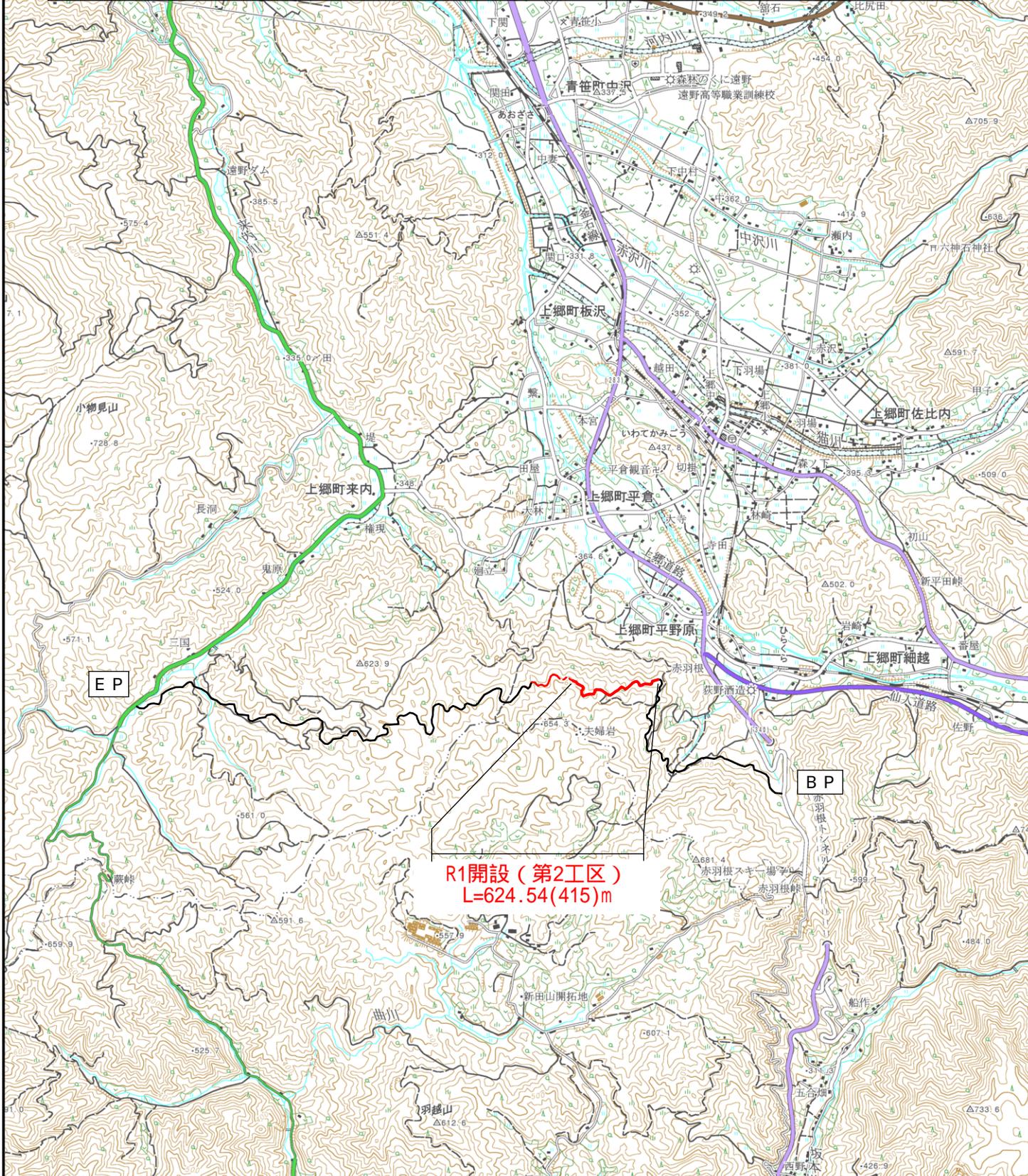
2. 審査内容

(記入方法：該当配点を○で囲む)

項 目	配 点			審査結果 採点計
	優れている	普 通	劣 る	
①景観や自然環境との調和	5	○3	1	3
②普及の可能性	5	○3	1	3
③技術的合理性	5	○3	1	3
④地域材の有効利用への寄与	○5	3	1	5
⑤デザイン性	5	○3	1	3
合 計				17



位置図 森林管理道 平野原線（第2工区）開設工事



R1開設（第2工区）
L=624.54(415)m

施工前、工事中、完成後



No.296

着工前



No.296

施工中



No.296

完成状況

施工前、工事中、完成後



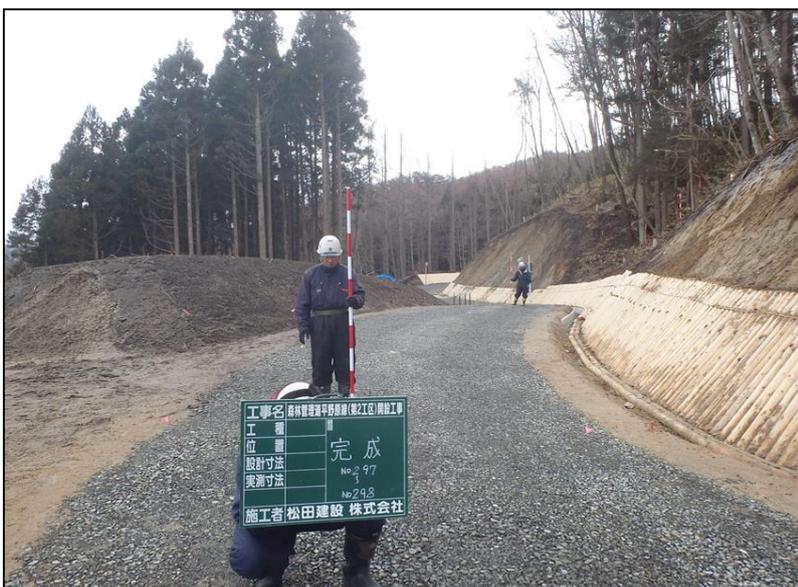
No.297

着工前



No.297

施工中



No.297

完成状況

施工前、工事中、完成後



No.301

着工前



No.301

施工中



No.301

完成状況

施工前、工事中、完成後



No.302

着工前



No.302

施工中



No.302

完成状況

施工前、工事中、完成後



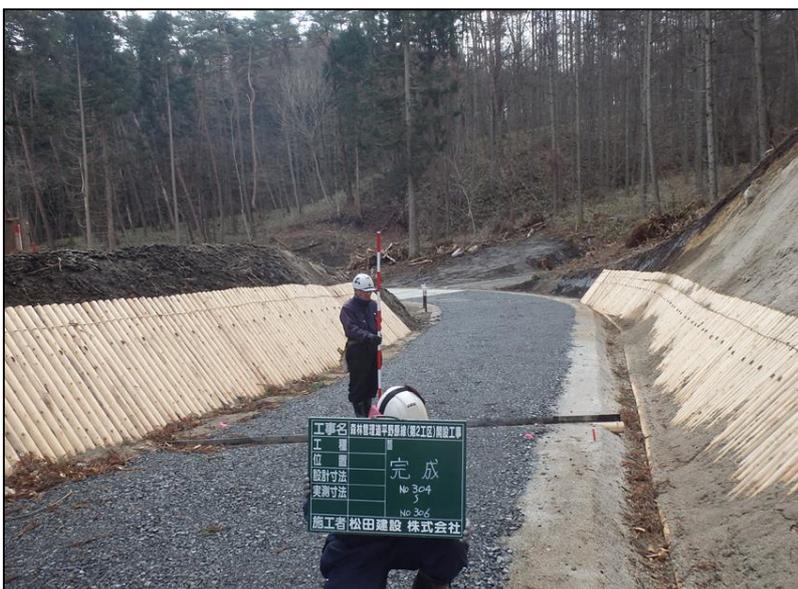
No.304

着工前



No.304

施工中



No.304

完成状況

施工前、工事中、完成後



No.308

着工前



No.308

施工中



No.308

完成状況

施工前、工事中、完成後



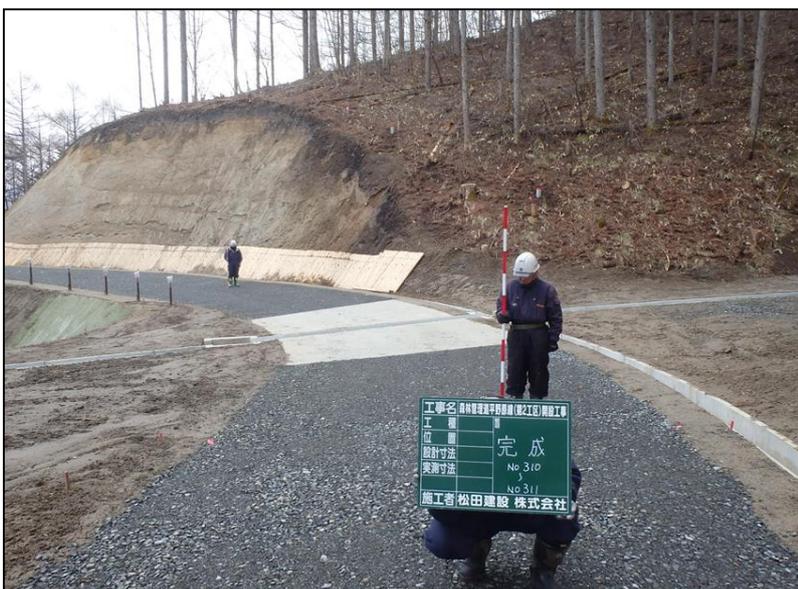
No.310

着工前



No.310

施工中



No.310

完成状況

施工前、工事中、完成後



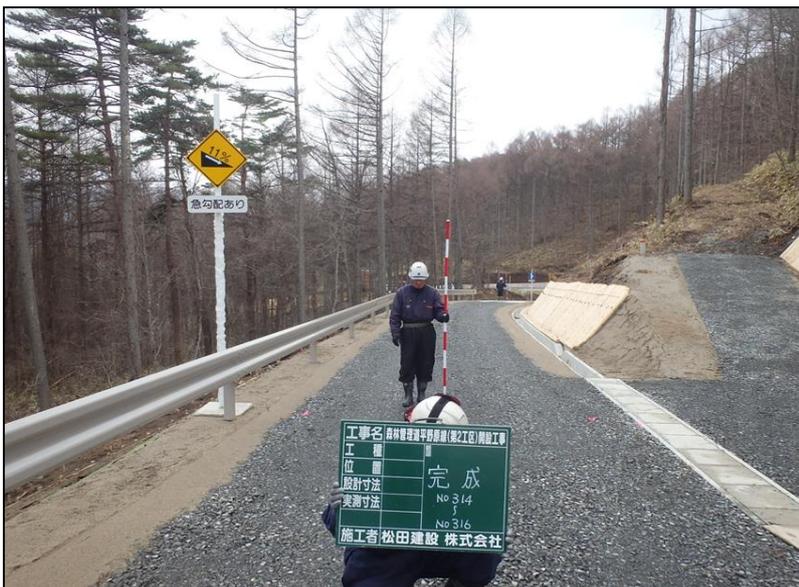
No.314

着工前



No.314

施工中



No.314

完成状況

工事名	森林管理道平野部(第2工区)開削工事
位置	完成
図寸法	No.314
実測寸法	No.316
施工者	松田建設 株式会社

施工前、工事中、完成後



No.316

着工前



No.316

施工中



No.316

完成状況

木材使用状況

木柵工



丸太伏工



木材使用状況

吐口保護工



木製路面排水工

